



2/6 地元で受け継がれる養蚕学習 蚕桑小学校で糸つむぎを体験

蚕桑小学校3年生の児童たちはこの日、自分たちが飼育してきた蚕の繭から取り出した真綿を使い、糸をつむいでいきました。

真綿から細く柔らかい糸を引き出しながら指先でねじるようにまとめて糸状にする作業。上質で柔らかい糸をつむいで行くためには指の力が必要だったようで、難しく大変だったと語る児童たち。およそ1時間の作業となりましたが、つむいだ糸を見て嬉しそうに笑みをこぼしました。

蚕桑小学校で昔から続く養蚕学習。今年も地元で伝わる伝統と技術を児童たちが学びました。



▲つむいでいる途中で糸がちぎれてしまう時もありました

2/23 白銀のグレンデで全力雪遊び！ 第39回白鷹スキー場祭りを開催

この日、白鷹スキー場を会場に「第39回白鷹スキー場祭り」が開催されました。

昨年は暖冬の影響で開催が断念されましたが、今年は雪に恵まれ、スキー場のコンディションはとて良く、イベントに大勢の方にご来場いただきました。

会場には、豚汁や玉こん、フランクフルトなど、冷えた体を芯から温める食べ物が並んだほか、輪投げや空からお菓子がふってくる「空からの贈り物」、そしてつくたての餅が来場者に振る舞われ、思う存分に楽しんでいただきました。



▲たくさん食べて、たくさん遊んで、大満喫♪

令和6年度山形県市町村広報コンクール

『広報しらたか』が2部門で入選しました！

先般開催された令和6年度山形県広報コンクールにおいて、『広報しらたか』が2つの部門で入選しました。

- 一枚写真の部 入選1席（県内第2位）
- 広報紙（町村）の部 入選3席（県内町村第4位）

これもひとえに、町民の皆さまの多大なるご協力があったことです。本当にありがとうございます。

引き続き、魅力ある誌面づくりに努めていきますので、『広報しらたか』をよろしくお願いいたします。



一枚写真の部で入選した
4月号（表紙）



広報紙の部で入選した
8月号



1/19 永年の功績をたたえて 令和6年度白鷹町芸術文化協会表彰

この日開催された白鷹町芸術文化協会の新春のつどいにあわせて、芸術文化協会表彰式がパレス松風にて行われました。

これは、永年にわたり芸術文化の向上に貢献された方の功績をたたえて表彰するものです。受彰された皆さま、誠におめでとうございます。

賞	氏名	団体名
芸術文化賞	菅間 道雄さん	フォトしらたか
芸術文化賞	椎名登美子さん	侃鶯会白鷹支部
奨励賞	堀内 よしさん	白鷹樗墨会



▲左から椎名登美子さん、菅間道雄さん、堀内よしさん

1/23 縁起物をいただき必勝祈願！ 白鷹中学校で「勝鬨（かちどき）鮎」

この日、白鷹中学校3年生の生徒たちは、あゆ茶屋より贈られた「勝鬨（かちどき）鮎」を給食でいただきました。

これは、毎年この時期になると高校受験を控えた中学校3年生の生徒に鮎の塩焼きが振る舞われ、合格を祈願するために「勝鬨鮎」と称して、長年親しまれている行事です。鮎をいただいた生徒は、「ふっくらしていてとても美味しかった」と大変喜んでいました。

生徒たちにとっては、初めて進路を自分自身で決めることとなる受験。さらに弾みをつけて勉強に励みたいと話してくれました。



▲勢いよく鮎にかぶりつく生徒

2/3 映画「オレンジ・ランプ」主人公のモデル 丹野智文さん講演会を開催

この日、認知症講演会を開催し、190 名の方に聴講いただきました。

講演会では、周りが先回りせず、本人が決め、本人にやってもらうことで、うつや依存を防ぐことができること、そして、家族や友人などとの関係を普段から大切に、今を精一杯生きることが一番大事な認知症への「備え」とであると話されました。参加者からは、「決めつけではなく本人に聞くことを心がけていきたい」

「家族との時間を大切にしていきたい」などの声をいただき、「認知症になっても安心な白鷹町」をみんなで考える有意義な時間となりました。



▲診断時の状況やどのように受け入れてきたかを語る丹野さん